

～中島陸軍四式戦闘機 疾風 (Ki-84)



[↑三菱 烈風と]

[ファウラー
フラップ→]

(出典：「世界の翼別
冊 写真でみる航空史
-下」朝日新聞社)



本機、疾風は日本陸軍最後の戦闘機で、太平洋戦争初期の傑作機、隼を送り出した中島飛行機が製作した、正統派戦闘機でもありました。隼を設計した糸川英夫技師が中島飛行機を去った後、上司であった小山悌(やすし)技師が全体を纏めた、2000馬力級誉エンジン搭載のコンパクトな形状の機体は、日本最強の戦闘機との評価を得ました。海軍の烈風と並べると、実にスリムな機体で、日本人好みの機体でもあったと思われます。この大きさの違いは、空戦時、小翼面荷重となるように、烈風がスプリットフラップを備える大面積の主翼としたのに対して、疾風は隼由来の蝶型フラップ、すなわち後方に大きく張り出すファウラーフラップを持つ主翼としたことが理由ではないかと思えます。

【模型について】

チェコのSword製のキットです。1/72では日本のハセガワから佳作キットが出ていますが、残念ながら凸モールドなので、こちらを選択しました。ただ、このキットも入手難となっており、スタンダードキットが出ないかと思っていたところ、最近、ポーランドのアルマホビーからリリースがアナウンスされました。とはいえ、やはり日本を代表する機体ですから、タミヤやファインモールドなどからファウラーフラップを再現した形で、我々日本人モデラーが手軽に入手できる和製キットがリリースされることを祈っています。

(中川裕幸 2022年3月, 2023年4月改定)